

議 事 録

		作成年月日	
		令和3年2月24日	
日時	令和3年2月10日 15時から17時まで	作成	承認
場所	湯のまち公民館 2階	渡邊	
出席者 (敬称略)	別添資料参照（第4回あわら市道の駅基本計画策定委員会名簿）		
会議の趣旨	第4回あわら市道の駅基本計画策定委員会次第 参照		
資料	別添		
議事内容			
<p>【1. 川本委員長あいさつ】</p> <p>前は、施設の配置計画や駐車場レイアウトなどについて協議した。今回はブラッシュアップということで協議頂きたい。道の駅ができるということで、地元の皆さんも着々と準備を進められていると聞いている。ぜひ期待以上のものができるように、よろしくお願ひしたい。</p> <p>【2. 協議事項】</p> <p>I. 道の駅「蓮如の里あわら」基本計画（素案）について 資料1に沿って事務局より説明。</p> <p>II. ゾーニング計画 資料1 P43に沿って事務局より説明。</p> <p>III. 施設配置計画について</p> <p>① 休憩機能・情報提供機能・地域振興機能・周遊観光促進機能施設レイアウト 資料1 P44、47、資料2に沿って事務局より説明。</p> <p>② 第1・第2駐車場レイアウト 資料1 P45、46に沿って土木部伊藤理事より説明。</p> <p>[質疑応答]</p> <p>・あわら市議会副議長 吉田氏： <u>駐車場について</u></p> <p>EVの充電スペースは、現在の計画では1台だが、2台以上にすべきではないか。国の政策でもEV車の普及を進めており、需要が増えると推測される。新しい道の駅となるので、先だって多めに配置しておくのが良いのでは。</p> <p>→土木部 伊藤理事： EV車の需要の増加が見込まれていることは承知している。現時点では、EV充電1カ所と予備2カ所としているが、充電スタンド一基で左右2台充電可能なものもあるので、2台の充電は可能と考える。また充電スタンドの増築に対応できるように、電気配線等は整備しておきたい。需要に応じて台数を増やす予定である。また現在サービスエリアでも整備が進んでいる急速充電対応の充電スタンドの設置を考えている。</p> <p>・福井県農林水産部 流通販売課長 吉澤氏： <u>農業体験の案内、宣伝について</u></p> <p>農業者の顔が見える販売というのはイメージができるが、そこから農業体験に結び付くかが疑問。具体的にどのように農業・農村体験などに紐づけるのかお聞きしたい。</p> <p>→佐々木あわら市長： 現在、市において様々な地域資源を掘り起こし、それらを体験させるような仕組み作りに取り組んでいる。中でも、農業体験が大きな部分を占めてくると考えているが、北部丘陵地の農業者とも接触しており、温泉と農業体験を結びつけるようなことも考えている。これらは、道の駅でも紹介していこ</p>			

うと考えており、他の道の駅との差別化につながると思う。

→吉澤氏：

道の駅を通じて、どこで農業体験ができるといったような情報を発信し、観光客を誘導するという
ことでよろしいか。

→佐々木あわら市長：

その通りである。

・坂井北部丘陵地営農推進協議会 事務局長 中林氏：

直売所売場について

農産物について、生産者の顔が見える売場とは、どのような取り組みを考えているのか。

→佐々木あわら市長

先進道の駅の事例を参考に、直売所に顔写真などを設置し、安心安全の農産物であることをアピール
するようなことなどを考えている。

・あわら市議会副議長 吉田氏：

飲食施設について

道の駅において、フードコートは非常に重要なものであるが、その運営には指定管理者以外の団体に公
募をするのか、それとも指定管理者自身が運営を行うのか。おろしそばやソースカツ丼などは難しい商品
ではないか。おいしい料理でないと人は集まらないので、運営者についてどのように考えているのか。

→佐々木あわら市長：

蓮如の里あわらでは、地域振興施設のフードコートと機能強化施設である鳳凰閣に設置されるレス
トランの2カ所の飲食施設が開設される予定。フードコートでは軽食を中心に提供し、レストランでは
単価を高めを設定した飲食物を提供することを考えており、それぞれが違う客層をターゲットとした
施設になる。機能強化施設のレストランは、民間の飲食業者にお願いすると聞いている。フードコート
は、現時点ではランチタイムのみの営業を想定しており、指定管理者に物販施設と一体的に運営して
もらうことを考えている。

・福井大学学術研究院工学系部門 川本教授：

休憩スペースについて

休憩スペースと情報発信施設の場所を離れたことから、資料1 P25の休憩スペースの「休憩しながら
道路情報等を確認する」という記載は間違いになってしまう。修正頂きたい。また、休憩スペースの利用
時間は24時間ではないという理解でよいか。そうであるなら、24時間利用できる道路情報発信施設に
は、利用者が休憩をする場所はあるのか。情報発信施設にも休憩場所が盛り込まれるという認識でよい
か。

→あわら市土木部 伊藤理事：

情報発信コーナーの所にも休憩できる場所を設けることを考えている。

→川本教授：

であれば、資料1 P27の情報発信施設の記述にその旨を追記する必要がある。

→あわら市政策広報課 江川課長：

承知した。その旨を追記する。

・北潟漁業協同組合 組合長 田端氏：

道の駅のメニュー・商品について

道の駅で提供するメニューや新商品など、現段階から考案しておくのがよいのか、それとも管理運営者
が決まってからなのか。

→あわら市政策広報課 江川課長：

管理運営者が決まり次第、ご相談させて頂きたいと考えている。

・福井大学学術研究院工学系部門 川本教授：

オープンテラスについて

オープンテラスがかなり広い面積を持ち、また休憩スペースと飲食施設との一体利用が可能と考えれば、利用者がかなりゆったりと利用できるゾーンとなると考えられる。資料1のP30 飲食施設の記述には、屋外空間（オープンテラス）との一体利用が可能との記載はあるが、休憩スペースとの一体利用が可能であることについて触れられていない。記述内容を修正すべきではないか。このゾーンは、この道の駅の強みとなると考えている。

→あわら市土木部 伊藤理事：

休憩スペースという表示は、道路管理者の整備する施設ということを区別するためこのように記載としている。実際の運用に当たっては、ご指摘の通り、飲食施設・オープンテラスなどとの一体的な利用を考えているので、P30の記述をそのように修正させて頂く。

・細呂木地区創成会副会長 酒井氏：

観光情報発信コーナーについて

観光情報発信コーナーで発信する情報の選定や作成・編集といった実務的な管理はどのように考えているのか。管理者が行うのか。

→佐々木あわら市長：

観光情報発信施設の観光情報発信コーナーでは、市や観光協会や近隣市町のパンフレットを配架する。まちあるき案内コーナーでは、若狭おばまが行っているように、吉崎ガイドクラブなどがボランティアで観光客を案内して頂くといったことができると考えている。若狭おばまをイメージしているが、スタッフの休憩場所や受付場所といったスペースを仕切って使うことも考えている。また、デジタルサイネージ等を利用した観光情報提供なども考えている。

→酒井氏：

デジタルで情報発信を実施するのであれば、市内の観光拠点と同時に管理できるように一元管理を行う必要があると考える。その管理は何処かへ委託し、道の駅での対人対応について現地のガイドが行う体制が、コンテンツの充実化などの観点から好ましいと思う。

・福井県土木部三国土木事務所長 神門氏：

吉崎御坊跡について

吉崎御坊跡の国道305号側の斜面について、御坊跡からの北潟湖の景色を邪魔していた立木を除去したため、非常に眺望が良くなった。また吉崎御坊跡自体も見所ある場所と考えられるので、ガイドツアーなどを活かすためにも、御坊跡もきれいに整備したらよいのではと考える。

→吉崎地区区長会会長 末富氏：

ご説明の通り、吉崎御坊跡からの景色は非常に素晴らしいことから、文科省も関係してくるが、一つの案としてテラスを設置できないかと考えている。ガイドツアーは既に7回程実施しており、モニターツアーなども行い、実施については自信を持っている。もう少し実施にあたっての運営基盤を整備し、申し込みがあれば必ず対応できるようにしたい。吉崎御坊跡だけでなく、北潟湖の散策ツアーで、もう少し価格を抑えたツアーなども考えているのでそういったものも案内していきたい。(一社)蓮如の里吉崎のHPが完成予定なので、そちらでも随時情報発信をしていきたいと考えている。ガイドクラブとしても道の駅にそういった窓口があれば非常に有難い。

→福井大学学術研究院工学系部門 川本教授：

歩行者動線について、北潟湖とのアクセスなどはある程度見えてきたが、吉崎御坊跡に関しては、まだ不明瞭な所がある。この近隣一体を周遊できるようにすると良いのではとの趣旨の発言だったと思うが、そのあたりはどうか。

→あわら市政策広報課 江川課長：

ご指摘のあったことを踏まえて、御坊跡の歩行者動線について検討する。

・吉崎地区区長会会長 末富氏：

北潟湖畔の棧橋について

北潟湖の湖畔に棧橋があるが、これがボロボロで危険な状態のため活用できていない。こちらの改修を市にお願いしたいと考えている。この棧橋を利用して遊覧船なども考えている。

→佐々木あわら市長：

護岸の改修について県にお願いしているところであり、こういった改修となるかは現在協議中であるが、棧橋は危険な状態であることもあり、場合によっては棧橋の撤去もあり得る。市が改修をするかどうか未定であるのでご理解頂きたい。

IV. 管理運営の基本方針について

資料1、2、3に沿って事務局より説明。

[質疑応答]

・あわら市議会副議長 吉田氏：

駅長の給与について

今回の人件費試算にある駅長の給与が安すぎるのでは。ほかの道の駅の条件などと比較してどうか。もう少し高くすべきなのではないか。

→あわら市政策広報課 江川課長：

他の道の駅と比べても安くは設定していない。

→佐々木あわら市長：

試算しているとおり、給与自体は高いものではない。しかし蓮如の里あわらでは、駅長の他に総務・経理などを行う職員も計上している。この試算より安い所もあり、正職員が一人しかいないところもある。

→吉田氏：

駅長次第で道の駅の成否が決まると考えられるので、もっと高くしても良いのではないか。でないと公募した際にいい人材が集まらないのでは。

→佐々木あわら市長：

他の道の駅では、黒字の場合、賞与を付与するという事も聞いている。

・細呂木地区創成会副会長 酒井氏：

資料3についてのコメント

この程度まで収支予想の積算がされていれば、公募した際の指定管理者の候補となる団体との協議がしやすいと考える。今ほどの報酬の話も指定管理を受けた団体の判断によるものであり、市が関与することでもないと思う。売上に補正係数として安全率も掛かっているので、議論しやすいのではないかと考える。

→佐々木あわら市長：

これはあくまで、シミュレーションを積み上げたものなので、議論の余地は多々ある。レンタサイクルの収入なども入っていない。そのためこの通りになるものでは無く、おおよその概算であるということをご承知頂きたい。

・福井県農林水産部流通販売課長 吉澤氏：

道の駅利用者について

資料3に記載の年間利用者推計値 36 万人は、どのような利用者層で構成されると予測しているのか。メインとなる利用者層はどういった層か。

→佐々木あわら市長：

観光客と加賀市を含む地元・近隣住民の割合は 50:50 と想定している。道路利用者に関しては、加賀インターチェンジが近いこともあり、そこから道の駅まで呼び込むための仕組みを作る必要がある。そしてこの道の駅は、市内観光の拠点として市内を周遊させるといった役割も担うことになる。さらには、この 305 号線はツーリングでの利用もあり、また中部縦貫自動車道が全線開通した際には、その利用者なども取り込んでいく必要がある。この道の駅は、目的地となる道の駅とすることから、歴史・文化・自然などの学び・体験の拠点とし、子どもや若者などの若年層も取り込みたいと考えている。きららの丘には、加賀市からの利用者もいることから、道の駅においてはきららの丘と競合しないように協議していきたい。

→吉澤氏：

観光客を道の駅を経由させ、加賀 IC 方面へ誘導することを想定されていると思うが、自家用車の観光客は、カーナビ等で目的地へ最短のルートで向かってしまうことが多い。そこで、金沢など近郊の観光地などでも道の駅の PR を行うなど、広域的な PR 活動が必要となると考えられる。参考にされたい。

・株式会社阿部総合計画事務所 阿部氏：

基本計画に関するコメント

計画としては良いものが出来てきていると感じている。あとは運営者の方をしっかりと決めていく必要がある。

・坂井園芸センターきららの丘担当課長 深町氏：

道の駅の経営について

高単価の品物は、コロナなど情勢の影響を受けやすい。逆に野菜などの低単価なものは需要が増加する傾向にある。きららの丘で売上が出せているのは、一品単価、客単価が共に高いためであり、例えば高単価のメロンをケース買いするような方がいる。15%の委託料での収益も、効率が良い品揃えを考えなければならぬ。例えばメロンでいうと、生産者の方は売れば出荷してくれるが、その場合でも品物を置く面積を確保する必要がある。数個の品物を置くために出荷する生産者はいない。なにをどうやって売るかをしっかりと決めていく必要がある。またこの道の駅の売りを考えておく必要がある。ソフトクリームやおろしそばでも良いが、目当てに来場してくれるような売りを作っていかなないと売り上げも上がらず赤字経営となっていくとも考えられる。

→あわら市政策広報課 江川課長：

ご意見を有難く頂戴する。道の駅の売りの重要性については重々承知している。管理運営者が決まった段階で、運営者としてしっかりと協議していきたい。また、収支推算を行う中、農産物等の集荷方法に関して壁にぶつかっている。今後きららの丘様とも相談したいと思っているので、よろしく願いしたい。

【3.その他】

事務局より連絡事項の説明

(今後のスケジュールについて)

・第5回：令和3年3月18日（木）10:00 より

【副委員長挨拶】

今回も貴重なご意見をありがとうございました。3/18には最終回を予定しており、この回をもって基本計画を固めていきたい。また市議会にて、道の駅の検討状況、進捗状況を報告する予定。そこで頂いた意見等を反映し、基本計画の策定というところを目指している。本日示した素案で、おおよその部分は出来てきたが、管理運営についてなど、まだ協議するべき点がある。引き続きご協力頂きたい。また次回の策定委員会もよろしく願います。

以上